

製品名: c-Jun ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab03716**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 36 kDa; Observed MW: 43 kDa

抗原情報

遺伝子名	JUN
別名	Transcription factor AP-1; Activator protein 1; AP1; Proto-oncogene c-Jun; V-jun avian sarcoma virus 17 oncogene homolog; p39
遺伝子 ID	3725
SwissProt ID	P05412
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

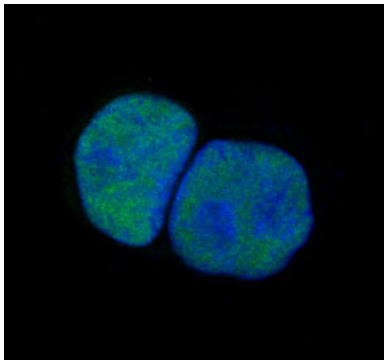
背景

c-jun は、エンハンサーヘプタマーモチーフ 5'-TGA[CG]TCA-3'を認識し結合する転写因子です。HIPK3 によってリン酸化されると NR5A1 の活性を促進し、cAMP シグナル伝達経路の刺激によるステロイド産生遺伝子の発現増加につながります。

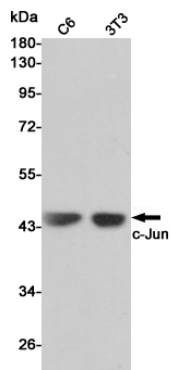
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

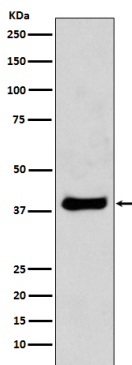
画像データ



c-Jun 抗体を使用した HeLa 中の c-Jun の免疫蛍光分析。



c-Jun 抗体を使用した C6 および 3T3 溶解物中の c-Jun のウエスタン プロット分析。



c-Jun 抗体を用いた NIH/3T3 ライセート中の c-Jun 発現のウエスタンプロット解析